



## ◆渡り鳥の飛来シーズン前に家畜防疫対策しましょう◆

今年も秋以降、渡り鳥の飛来により高病原性鳥インフルエンザウイルスが国内に持ち込まれる可能性が高いです。渡りが本格化する前、**9月中**には農場整備しておきましょう。

消毒槽に漬け置きすると  
消毒効果UP!

### 1. 飼養衛生管理の再確認

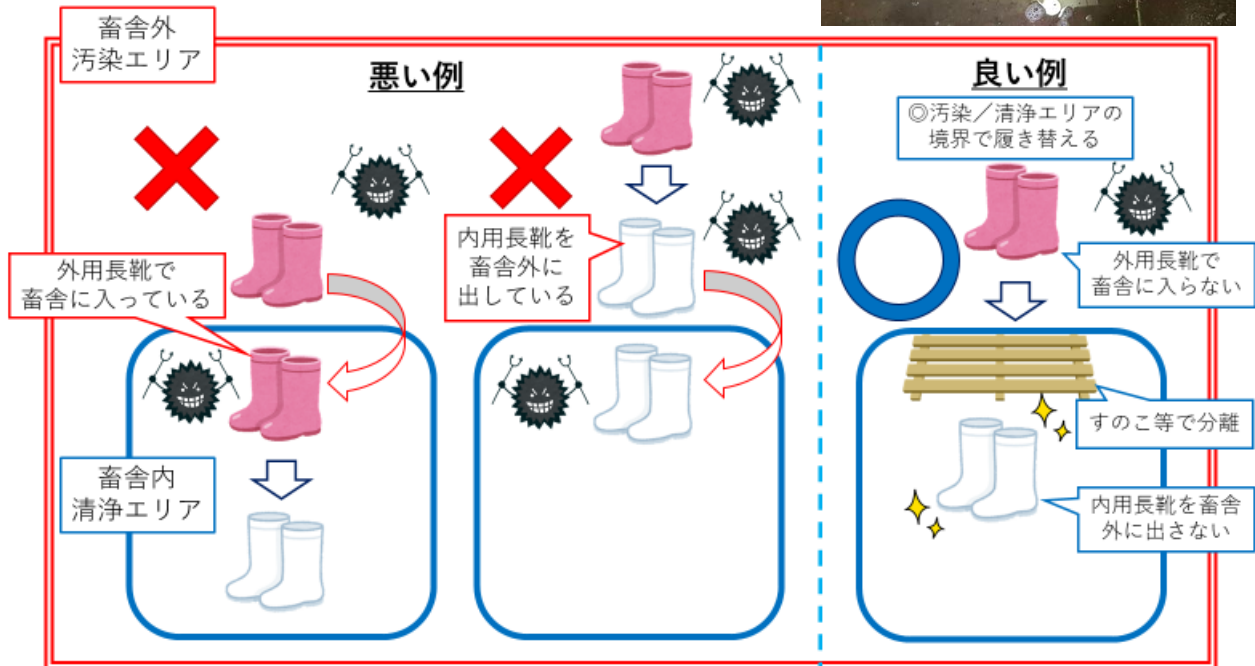
- 消毒や長靴履き替えのルールに従業員だけでなく、外来者にも徹底する。

**鶏舎専用の長靴で鶏舎の外に出ない!**

**鶏舎外で履いていた靴で鶏舎内に入らない!**



鶏舎用長靴消毒例



- 他の農場との共同施設（堆肥舎や道路など）利用時には出入り時の消毒を徹底する。冬場の低温下では消毒液の効果が下がります。**冬場は高濃度で使用**しましょう。また、消毒の実施記録をつけましょう。

### 2. 農場敷地内の整理整頓

- 草刈り、実のなる植物や木の剪定、伐採をして野鳥の巣作りや止まり木にならないようにしましょう。
- 飼料タンク付近のこぼれ餌や隠れ場所になる物品の片付けをし、野生動物が近づかないようにしましょう。



### 3. 野生動物の侵入防止

- 鶏舎の壁や金網、防鳥ネットなどに穴がないか確認しましょう。特に入気口や天井裏など普段目が届きにくい場所も点検しましょう。
- 集卵ベルトや除糞ベルトの出入口の隙間をなくし、野鳥・野生動物が入らないようにしましょう。
- 野良猫などの野生動物や野鳥に安易に餌を与えないようにしましょう。
- ネズミ、害虫を駆除しましょう。

穴がないか確認!



<消毒液の希釈倍率について> **冬場は高濃度で使用しましょう!**

| 消毒薬の種類 | 商品名        | 希釈倍率      | 冬場の推奨濃度 |
|--------|------------|-----------|---------|
| 逆性石けん  | ロンテクト      | 500~2000倍 | 200倍    |
|        | パコマ        | 50~800倍   | 50倍     |
|        | パンパックス100  | 500~2000倍 | 200倍    |
|        | アストップ      | 500~2000倍 | 200倍    |
|        | クリンエール     | 500~2000倍 | 200倍    |
| 塩素系    | クレンテ       | 300~3000倍 | 200倍    |
|        | アンテックビルコンS | 500~1000倍 | 200倍    |
| アルデヒド系 | グルタプラス     | 160~800倍  | 160倍    |
|        | ヘルミン       | 200~1000倍 | 200倍    |
| アルコール  | 消毒用エタノール   | そのまま使用    | そのまま使用  |

※消毒液の取扱い時には、必ず利用用途に応じた希釈倍率で使用ください。

※有機物の存在下では効力が低下します。糞便等の汚れを洗浄後、消毒しましょう。

※希釈した消毒液の効果は数日で低下します。1日に1回以上交換しましょう。

消毒液が汚れた場合は直ちに交換してください。

◆ワクモ対策について◆



【被害】

ワクモは吸血を行うダニの仲間です。鶏や野鳥に寄生し貧血や産卵率の低下、衰弱、最悪の場合死亡することもあります。また、ワクモによってサルモネラや大腸菌などが運ばれ感染症拡大の原因となります。

【特徴】

ワクモは暗いところを好むため、昼間は物陰に隠れて夜に活動します。太陽が直接当たる場所では数秒で、65℃以上の高温水をかけると瞬時に死にます。25℃~37℃で増殖が活発になります。

【対策】

・侵入を防ぐ

ワクモは導入鶏や長靴、衣服、器材、ネズミや野鳥、ハエなどに付着して侵入します。長靴や衣服の交換、消毒、ネズミなどの駆除を行いましょう。

・鶏舎や資材を65℃以上の高温水で洗浄する

・殺虫剤の散布

オールアウト後と鶏導入直前の二回散布が効果的です。長期間同じものを使用すると効果が減少するため、定期的に異なる種類の薬剤に変更しましょう。

**⚠️ 鶏が居る状態で殺虫剤を使用する場合は薬剤が卵や飼料にかからないよう注意してください。使用禁止期間を遵守してください。⚠️**

・シリカや珪藻土を鶏舎内に散布する

珪藻土を10倍量の水に溶かし、散布します。ワクモの体を傷つけ水分が吸収されることにより殺虫します。環境負荷や鶏への影響はありません。

・ワクモの隠れ場所を減らす

ワクモは隙間や物陰、鶏糞内に生息します。飼養環境を整備しワクモの住処を減らしましょう。



### ・ワクモトラップを使用する

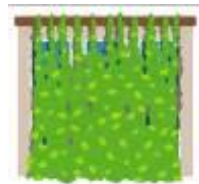
市販のワクモトラップや段ボールを設置し捕獲します。5日程度で回収してください。  
これらの対策を複数組み合わせる行うことが効果的です。

## ◆暑熱対策をお願いします◆

8～9月は晴れの日が多く、平年より気温が高い長期予報(気象庁)となっています。卵用鶏では18℃～25℃が快適な温度であり、33℃を超えると卵重や産卵率の低下、熱死等の被害が現れるため、暑熱対策が重要となります。

引き続き万全な対策で夏を乗り切りましょう！

- (1) 日よけ(寒冷紗、よしず、つる性植物等の利用)を設置しましょう。
- (2) 屋根や壁からの蓄熱量を減らすため、畜舎内や屋根の散水、また、屋根に石灰乳を塗り白くするのも太陽光を反射するので、効果的です。
- (3) 換気扇や送風ダクトによる送風で、熱気を追い出し、新しい空気を取り入れます。
- (4) できるだけ、密飼いにしないようにしましょう。
- (5) 消化のよい良質飼料を与え、給餌は涼しい夜間に食べさせる工夫をしましょう。重曹やミネラル、ビタミンも適切に給与しましょう。
- (6) 給水施設の掃除を実施し、新鮮な水を常に十分飲水できるようにしましょう。
- (7) 家畜に異常がないか、よく観察しましょう。



また、毎年、農作業従事者の熱中症による死亡事故が報告されています。炎天下での作業はできるだけ避け、作業中はこまめに水分・塩分を補給しましょう。大量の発汗やめまい、頭痛、吐き気などの症状がでたら、すぐ作業を中止して体を冷やし、医療機関を受診してください。



## ◆家畜排せつ物管理の再確認のお願い◆

家畜排せつ物法により家畜排せつ物を放置する「野積み」や穴を掘り投棄する「素掘り」は禁止されています。家畜排せつ物は管理施設で管理することになっています。その施設の定期点検を行い、不備がある場合は、遅滞なく修繕、装置の維持管理を適切に行ってください。

また、毎年、家畜排せつ物の発生量、処理方法、処理の方法別の数量について記録をすることが義務付けられています。あわせて、ご確認くださいますようお願いいたします。



## ◆ハエ対策は万全に！！◆

今年の春は急に暑くなったため、ハエ対策が遅れ、例年よりハエの苦情が多く寄せられました。これから秋に向かって気温が落ち着く時期になると、再びハエの発生時期になります。ハエ対策は早めの対応をお願いします。

**ハエの絶対量の約80%は卵・幼虫・蛹なので、成虫になる前に駆除することが大切です。**

### 〈ハエ駆除対策について〉



#### ・環境対策

こまめに除ふん・清掃を行い、ハエの発生源を除去しましょう。

#### ・物理的駆除

ハエ取り紙、粘着トラップシートなどを設置。粘着シートを定期的に定位置に設置するとハエの発生量のモニタリングにもなります。

・殺虫剤の使用

- ① 幼虫対策：IGR 剤(脱皮阻害剤)が効果的で、幼虫が育つ場所にしっかり面積当たりの使用量を守り薬剤を散布しっかり浸透させます。成虫の発生に適した気温になる前(15℃程度)から散布をはじめ、気温が20℃を超えるころには散布間隔を短くし、気温に合わせて散布間隔を変えます。**ハエの適温は25℃~35℃程度です。この時期、卵から1週間程度で成虫になります。**
- ② 誘因による成虫駆除：ハエが好む砂糖水などにカーバメイト系殺虫剤を1割混ぜたものなど、誘引剤の入った製剤をハエが集まる場所へ設置します。風の無い場所(畜舎内の隅・壁)、暖かい場所(カーテン・ブルーダー・日なたなど)、ハエの糞が付着しているところ(天井・窓・蛍光灯・電灯の傘など)にハエが良く集まり、一層効果的な駆除となります。
- ③ 散布による成虫駆除：多用は避け、異なる系統のもの(ピレスロイド系・有機リン系製剤等)をローテーションで使用しましょう。ライトの照射などで意図的にハエを集めたり、気温の低い朝や夕、雨天の日にカーテンや壁に止まっている時に散布すると効果的です。

## ◆「ぐんまエコファーマー」になりませんか?◆

環境にやさしい農業の取り組みを進めるため、「みどりの食料システム法」に基づく新しい認定制度が始まりました。今までは耕種農家向けの認定制度でしたが、新たに畜産(肉用牛、乳用牛、豚、肉用鶏、採卵鶏)が加わりました。**今年度中**に認定された農業者が、農業の環境負荷低減のために設備投資を行う場合、以下の優遇措置が受けられます。



- 1 設備投資の際の税制優遇が受けられます
- 2 様々な補助金の採択で優遇されます
- 3 日本政策金融公庫の無利子融資等が活用できます

対象となる品目の概ね1/2以上の生産規模において、以下のいずれかの取組が実施されていると認定されます。

### 1 家畜排せつ物管理方法の変更

メタン等の排出量が少ない家畜排せつ物管理方法へと変更することなど  
※嫌気条件下で発生するメタン及び一酸化二窒素の発生を抑制する取組

### 2 アミノ酸バランス改善飼料の給餌

慣行飼料よりタンパク質含有量が3%低く、必須アミノ酸を添加した配合飼料を給餌していること

※粗タンパク質の含有率が低い「アミノ酸バランス改善飼料」を給餌することにより、排せつ物管理に伴う一酸化二窒素の排出を抑制する取組

家畜保健衛生所は**365日24時間対応**の緊急連絡体制を確保しています。

緊急時にはご連絡ください。

**中部家保** ☎ 027-288-0371

★ 畜産業を廃業された方にこの「中部家保だより」が送付された場合は、誠にお手数ですが、ご連絡くださいますようお願い申し上げます。